

国立民族学博物館機関研究一覧

H27.4更新

新機関研究(平成21年度(H.21.10.1)開始) 第二期中期計画(H22-H27)										
領域名	研究プロジェクト名	研究代表者	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
の人間学 包摂と自律	支援の人類学:グローバルな互惠性の構築に向けて	先端人類科学研究部 准教授 鈴木 紀	H21.10.1		~		H25.3.31			
	近代ヒスパニック世界における国家・共同体・アイデンティティ:スペイン領アメリカの集住政策の研究	先端人類科学研究部 教授 齋藤 晃				H23.4.1	~	H26.3.31		
	ケアと育みの歴史人類学	先端人類科学研究部 教授 鈴木 七美				H23.4.1	~	H26.3.31		
	中国における家族・民族・国家のデイクース	民族社会研究部 教授 韓 敏					H24.4.1	~	H27.3.31	
の人間学 マテリアリティ	モノの崇拜:所有・収集・表象研究の新展開	民族文化研究部 教授 竹沢 尚一郎	H21.10.1		~		H25.3.31			
	布と人間の人類学的研究	先端人類科学研究部 教授 関本 照夫			H22.12.1	~	H25.3.31			
	民族学資料の収集・保存・情報化に関する実践的研究:ロシア民族学博物館との国際共同研究	先端人類科学研究部 教授 佐々木史郎					H24.4.1	~	H27.3.31	
	文化遺産の人類学 —グローバル・システムにおけるコミュニティとマテリアリティ	先端人類科学研究部 准教授 飯田 卓						H25.4.1	~	H28.3.31
	手話言語と音声言語の比較に基づく新しい言語観の創生	先端人類科学研究部 准教授 菊澤 律子						H25.4.1	~	H28.3.31
プロジェクト数			2	3	5	7	6	4	2	

*3年間採択(初年度のみ3年半)

新規2・継続0 | 新規1・継続2 | 新規2・継続3 | 新規2・継続5 | 新規2・継続4 | 新規0・継続4 | 新規0・継続2

平成27年度
シンポジウム・フォーラム一覧

	年月日	所属	代表者	申請者	日本語タイトル	種別	開催場所	対象	参加人数	
H21	1	H22.2.21	先端人類科学研究部	鈴木紀		機関研究ワークショップ「支援の人類学の射程」	機関研究(鈴木紀)	第4セミナー室	一般・研究者	-
	2	H22.3.2	先端人類科学研究部	鈴木紀		国際シンポジウム「フェアトレード・コミュニケーション:商品が運ぶ物語」(一般向け)	機関研究(鈴木紀)	講堂	一般	-
	3	H22.3.3	先端人類科学研究部	鈴木紀		国際シンポジウム「フェアトレード・コミュニケーション:商品が運ぶ物語」(研究者向け)	機関研究(鈴木紀)	第3セミナー室	研究者	-
									合計	-
H22	1	H22.6.26	先端人類科学研究部	竹沢尚一郎		国際研究フォーラム「文化遺産の返還とその再生—アラスカ州コディアック島の仮面をめぐる—」	機関研究(竹沢)	講堂	一般	268
	2	H22.10.30	先端人類科学研究部	竹沢尚一郎		映画会&国際シンポジウム「エル・アナツイの世界」	機関研究(竹沢)	講堂	一般	61
	3	H22.10.31	先端人類科学研究部	竹沢尚一郎		国際シンポジウム「アート・表象・世界—彫刻家エル・アナツイのアフリカ展に即して」	機関研究(竹沢)	第4セミナー室	一般	30
	4	H22.11.7	先端人類科学研究部	鈴木七美		国際シンポジウム「希望社会への道—スウェーデンと日本におけるウェルビーイングの思想と市民社会」	機関研究(鈴木紀)	講堂	一般	113
	5	H23.2.27	先端人類科学研究部	鈴木紀	陳 天璽	国際ワークショップ「無国籍者の支援の現場—市民社会からのアプローチ」	機関研究(鈴木紀)	第4セミナー室	一般	90
	6	H23.2.27	先端人類科学研究部	鈴木紀	陳 天璽	国際シンポジウム「世界における無国籍者の人権と支援—日本の課題」	機関研究(鈴木紀)	講堂	一般	92
	7	H23.3.5-6	先端人類科学研究部	鈴木紀		国際シンポジウム「『日常』を構築する:アフリカにおける平和構築実践に学ぶ」	機関研究(鈴木紀)	講堂	一般	116
									合計	770
H23	1	H23.8.16-8.17	先端人類科学研究部	齋藤 晃		国際シンポジウム「植民地期南米辺境における在来の伝統とミッション文化—比較の展望へ向けて」	機関研究(齋藤)	国立サン・マルティン大学社会科学高等研究所(ブエノスアイレス、アルゼンチン)	一般・研究者	122
	2	H23.9.8	先端人類科学研究部	鈴木七美		国際シンポジウム「アジアにおける生殖補助技術と子どもの誕生・親族・ジェンダー」	機関研究(鈴木七美)	第6セミナー室	研究者	20
	3	H23.10.29	先端人類科学研究部	齋藤晃		シンポジウム「近代ヒスパニック世界における共同体の構築—垂直的紐帯と水平的紐帯」	機関研究(齋藤)	第3セミナー室	研究者	36
	4	H23.11.5	先端人類科学研究部	鈴木紀	白川千尋	国際シンポジウム「グローバル支援の時代におけるボランティア—東南アジアの現場から考える」	機関研究(鈴木紀)	第4セミナー室	一般・研究者	44
	5	H24.1.21	先端人類科学研究部	鈴木七美		シンポジウム「福祉と開発の人類学:ひろがる包摂空間とライフコース」	機関研究(鈴木七美)	第4セミナー室	研究者	24
	6	H24.1.28	先端人類科学研究部	鈴木七美		シンポジウム「ケアと育みの人類学の射程」	機関研究(鈴木七美)	第4セミナー室	一般・研究者	26
	7	H24.2.7-2.8	先端人類科学研究部	関本照夫		国際ワークショップ「捨てるもの、捨てられないもの—布の履歴からモノの消費を考える」	機関研究(関本照夫)	第4セミナー室	一般・研究者	52
	8	H24.2.17-2.18	文化資源研究センター	竹沢尚一郎	吉田憲司	国際シンポジウム「アフリカを展示する—ミュージアムにおける文化の表象・再考」	機関研究(竹沢尚一郎)	第4セミナー室	研究者	60
	9	H24.2.25-2.26	先端人類科学研究部	鈴木七美		国際シンポジウム「エイジング—多彩な文化を生きる」	機関研究(鈴木七美)	講堂 4セミ	一般・研究者	113
	10	H24.3.3	先端人類科学研究部	鈴木七美	野林厚志	国際公開シンポジウム「インクルーシブデザインとは何か—ケアと育みの環境を目指して」	機関研究(鈴木七美)	講堂	一般	104
	11	H24.3.4	先端人類科学研究部	鈴木七美	野林厚志	国際シンポジウム「包摂した社会空間の実現にむけて—課題とインクルーシブデザインの解決モデル」	機関研究(鈴木七美)	第4セミナー室	一般	54
	12	H24.3.18	先端人類科学研究部	竹沢尚一郎		シンポジウム「記憶・歴史・表象—博物館は悲惨な記憶をどのように展示するか」	機関研究(竹沢尚一郎)	第4セミナー室	一般	72
	13	H24.3.24-3.25	先端人類科学研究部	鈴木紀		国際シンポジウム「グローバルな倫理的消費:フェアトレードの新展開」	機関研究(鈴木紀)	第4セミナー室	一般・研究者	120
									合計	847
H24	1	H24.5.26	先端人類科学研究部	竹沢尚一郎	吉田憲司	国際シンポジウム「アートと博物館は社会の再生に貢献しうるか?」	機関研究(竹沢)	講堂	一般	347
	2	H24.7.20	先端人類科学研究部	齋藤晃		国際シンポジウム「スペイン領南米における集住政策と先住民社会へのその効果」	機関研究(齋藤)	ウィーン大学(ウィーン、オーストリア)	研究者	62
	3	H24.8.23	先端人類科学研究部	齋藤晃		公開セミナー「スペイン領アメリカの集住政策」	機関研究(齋藤)	教皇庁立ベルカトリカ大学(リマ、ペルー)	研究者	40
	4	H24.9.6	先端人類科学研究部	齋藤晃		公開セミナー「スペイン領アメリカの集住政策」	機関研究(齋藤)	教皇庁立ベルカトリカ大学(リマ、ペルー)	研究者	65
	5	H24.11.3	先端人類科学研究部	関本照夫		国際ワークショップ「アジアの布と生きる」	機関研究(関本)	講堂	一般	169
	6	H24.11.11	先端人類科学研究部	鈴木七美		国際シンポジウム「ヒーリング・オルタナティブス—ケアと養生の文化」	機関研究(鈴木七美)	第4セミナー室	一般・研究者	91
	7	H24.11.24~11.25	民族社会研究部	韓敏		国際シンポジウム「中国の社会と民族—人類学的枠組みと事例研究」	機関研究(韓)	第4セミナー室	研究者	94
	8	H24.12.15	先端人類科学研究部	鈴木紀		国際ワークショップ「グローバル支援のための実践人類学—研究と実践のキャリア・プランニング」	機関研究(鈴木紀)	第4セミナー室	一般・研究者	40
	9	H25.1.15~16	先端人類科学研究部	竹沢尚一郎		国際シンポジウム「21世紀の民族学博物館」	機関研究(竹沢)	人間科学館(パリ、フランス)	一般	55
	10	H25.1.24~25 H25.1.27~28	先端人類科学研究部	佐々木史郎		国際ワークショップ「民族学資料の保存と修復—博物館バックヤードの利用効率向上と自然素材資料の修復」	機関研究(佐々木)	24・25日奈良元興寺文化財研究所/奈良国立博物館、27・28日民博4セミ/1演	研究者	64
	11	H25.1.26	民族文化研究部	丹羽典生		国際シンポジウム「グローバル化における紛争と宗教的社会運動—オセアニアにおける共生の技法」	機関研究(鈴木七美)	第4セミナー室	一般・研究者	36
	12	H25.2.23	先端人類科学研究部	関本照夫		国際ワークショップ「布を使う人、布に包まれる身体」	機関研究(関本)	第4セミナー室	一般・研究者 研究者	57
	13	H25.3.21	先端人類科学研究部	鈴木紀		アメリカ応用人類学会第73回大会分科会発表 国際公開ワークショップ「グローバル支援の人類学—市民社会間で互恵的紐帯をいかに形成するか」	機関研究(鈴木紀)	アメリカコロラド州デンバー市	研究者	10
	14	H25.3.24	先端人類科学研究部	竹沢尚一郎		国際シンポジウム「博物館は悲惨な記憶をどう展示するか」	機関研究(竹沢)	第4セミナー室	一般	49
									合計	1,179

	年月日	所属	代表者	申請者	日本語タイトル	種別	開催場所	対象	参加人数		
H25	1	H25.5.27-5.28	先端人類科学研究部	飯田 卓		国際シンポジウム「文化遺産はコミュニティをかたどるか？—アフリカの事例から」	機関研究(飯田)	第4セミナー室	一般	99	
	2	H25.7.13	先端人類科学研究部	飯田 卓	吉田憲司	国際ワークショップ「武器をアートに—モザンビークにおける平和構築の営みを考える」	機関研究(飯田)	第4セミナー室	一般	54	
	3	H25.9.23-9.27	先端人類科学研究部	佐々木史郎		国際ワークショップ「民族学資料の記録化・情報化の諸問題」	機関研究(佐々木)	ロシア、ロシア民族学博物館(サンクトペテルブルク市)、ノヴゴロド野外博物館(ノヴゴロド市)、ヴィトスラヴィツィ民俗木造建築博物館(ノヴゴロド市)	研究者	18	
	4	H25.9.27	先端人類科学研究部	菊澤 律子		語順に関する国際ワークショップ	機関研究(菊澤)	第4セミナー室	一般・研究者	117	
	5	H25.9.28	先端人類科学研究部	菊澤 律子		言語の記述に関する国際ワークショップ	機関研究(菊澤)	第4・5セミナー室	一般・研究者	125	
	6	H25.9.29	先端人類科学研究部	菊澤 律子		第2回手話言語学と音声言語学に関する国際シンポジウム(SSLL2)「言語の語順と文構造」	機関研究(菊澤)	第4セミナー室	一般・研究者	159	
	7	H25.10.13-10.14	先端人類科学研究部	佐々木史郎		国際シンポジウム「博物館コレクションの中のシベリア、極東諸民族の文化—収集、保存、展示方法の検討」	機関研究(佐々木)	第4セミナー室	研究者	21	
	8	H25.10.24	先端人類科学研究部	齋藤晃		公開セミナー「トレドの集住政策研究の新展開」	機関研究(齋藤晃)	ペルー、教皇庁立ペルーカトリック大学(リマ)	研究者	70	
	9	H25.11.18-19	民族社会研究部	韓敏		国際シンポジウム「中日の人類学・民族学の理論的刷新とフィールドワークの展開」	機関研究(韓)	中国、中国社会科学院民族学・人類学研究所 会議室(北京)	研究者	109	
	10	H26.2.22-2.23	先端人類科学研究部	鈴木七美	平井京之介	国際シンポジウム「社会運動と知の生産—東アジアにおける政治・アイデンティティ・社会変化」	機関研究(鈴木七美)	第4セミナー室	研究者	53	
	11	H25.12.1	先端人類科学研究部	菊澤 律子		みんなくセミナー 暮らしの中の言語学「ことばの機能障害と言語学」	機関研究(菊澤)	日本財団ホール(東京)	一般	63	
	12	H26.1.18	先端人類科学研究部	飯田 卓	竹沢尚一郎	公開フォーラム「負の文化遺産の保存と展示をめぐる」	機関研究(飯田)	千里朝日阪急ビル(第5会議室)	一般	27	
	13	H26.3.3-7	先端人類科学研究部	佐々木史郎		国際ワークショップ「コンピュータとドキュメンテーション—民族学資料のデジタル化とその利用」	機関研究(佐々木)	第4セミナー室	研究者	26	
									合計	941	
H26	1	H26.5.17	先端人類科学研究部	飯田 卓		遺産は人びとを橋渡す—戦争と災害からの回復にむけて	機関研究(飯田)	幕張メッセ	研究者	68	
	2	H26.6.28	先端人類科学研究部	飯田 卓		公開フォーラム「和食は誰のものか？」	機関研究(飯田)	講堂	研究者一般	228	
	3	H26.6.24-27	先端人類科学研究部	佐々木史郎		国際ワークショップ「民族学博物館の展示基本構想」	機関研究(佐々木)	ロシア、ロシア民族学博物館、人類学民族学博物館、エルミタージュ美術館(サンクトペテルブルク市)	研究者	21	
	4	H26.6.27	先端人類科学研究部	飯田 卓		公開研究会「文化遺産管理における住民参加」	機関研究(飯田)	大阪国際交流センター	研究者一般	53	
	5	H26.10.4-5	先端人類科学研究部	菊澤 律子		国際シンポジウム「言語の記述・記録・保存と通モード言語類型論」	機関研究(菊澤)	講堂	研究者一般	126	
	6	H26.11.8	先端人類科学研究部	飯田 卓		公開フォーラム「文化遺産の人類学」	機関研究(飯田)	第5セミナー室	研究者一般	99	
	7	H26.11.22-23	民族社会研究部	韓 敏		国際シンポジウム「中国文化の持続と変化—グローバル化の中の家族・民族・国家」	機関研究(韓)	第4セミナー室	研究者	131	
	8	H27.1.24-25	先端人類科学研究部	飯田 卓	河合 洋尚	国際フォーラム「中国地域の文化遺産—人類学の視点から」	機関研究(飯田)	第5セミナー室	研究者一般	165	
	9	H27.2.7	先端人類科学研究部	飯田 卓	菅瀬 晶子	国際フォーラム「紛争地の文化遺産と博物館」	機関研究(飯田)	第4セミナー室	研究者一般	54	
	10	H27.3.9-14	先端人類科学研究部	佐々木史郎		国際ワークショップ「民族学資料の展示への利用とソースコミュニティとの協力関係」	機関研究(佐々木)	第4セミナー室 アイヌ民族博物館(北海道)	研究者	40	
									合計	985	
H27	1	H27.10.13	先端人類科学研究部	飯田 卓		国際フォーラム「文化遺産レジームを考える—レギーナ・ベンディクス教授を迎えて」	機関研究(飯田)	第4セミナー室	研究者	28	
	2	H27.9.20-21	先端人類科学研究部	菊澤 律子		国際シンポジウム「手話言語と音声言語に関するシンポジウム」	機関研究(菊澤)	講堂	研究者一般	363	
	3	H28.3.11-13	先端人類科学研究部	飯田 卓		国際シンポジウム「無形文化遺産の継承における「オーセンティックな変更・変容」」	機関研究(飯田)	第4セミナー室	研究者一般	186	
	4	H28.1.9	先端人類科学研究部	菊澤 律子		みんなくセミナー「通訳学☆最前線」	機関研究(菊澤)	第4セミナー室	研究者一般	61	
									合計	638	
64 回実施										総計	5,360

平成22-27年度 機関研究研究成果公開 単行本、SES、SER

年度	領域名	研究プロジェクト名	研究代表者 所属・氏名	成 果 刊 行	冊数
H22	包摂と自律の人間学	支援の人類学: グローバルな互恵性の構築に向けて	先端人類科学研究部 准教授 鈴木紀	鈴木七美・藤原久仁子・岩佐光広 編著 2010『高齢者のウェルビーイングとライフデザインの協働』、御茶の水書房(2010年10月)	1
H23	包摂と自律の人間学	ケアと育みの人類学	先端人類科学研究部 教授 鈴木七美	Nanami Suzuki (ed.) 2012 The Anabaptist Idea and the Way of Practicing Care: Reconsidering the meaning of life in the 21th century, Senri Ethnological Studies 79, National Museum of Ethnology (2012.3) 鈴木七美 編 2012『障害のない社会』にむけて—ウェルビーイングへの問いとノーマライゼーションの実践』、Senri Ethnological Reports 102、国立民族学博物館(2012年3月)	2
H24	包摂と自律の人間学	ケアと育みの人類学	先端人類科学研究部 教授 鈴木七美	Suzuki, Nanami (ed.) 2013 <i>The Anthropology of Aging and Well-being: Searching for the Space and Time to Cultivate Life Together</i> , Senri Ethnological Studies 80, National Museum of Ethnology(2013.2)	2
H24	包摂と自律の人間学	支援の人類学: グローバルな互恵性の構築に向けて	先端人類科学研究部 准教授 鈴木紀	鈴木紀、滝村卓司 編著 2013『国際開発と協働——NGOの役割とジェンダーの視点(みんぱく実践人類学シリーズ第8巻)』、明石書店(2013年2月)	
H25	包摂と自律の人間学	ケアと育みの人類学	研究戦略センター 教授 鈴木七美	内藤直樹・山下輝裕 編著 2014『社会的包摂・排除の人類学 開発・難民・福祉』、昭和堂(2014年2月) 野林厚志・平井康之・真鍋 徹・藤 智亮・川窪 伸光・三島 美佐子 著 2014『知覚を刺激するミュージアム: 見て、触って、感じる博物館のつくりかた』、学芸出版社(2014年3月) 丹羽典生・石森大知 編著 2013『現代オセアニアの「紛争」: 脱植民地期以降のフィールドから』、昭和堂(2013年3月) Suzuki, Nanami (ed.) 2014 The Anthropology of Care and Education for Life: Searching for Resilient Communities in Multicultural Aging Societies, Senri Ethnological Studies 87, National Museum of Ethnology (2014.3)	5
H25	包摂と自律の人間学	支援の人類学: グローバルな互恵性の構築に向けて	先端人類科学研究部 准教授 鈴木紀	陳天璽 編 2014『世界における無国籍者の人権と支援—日本の課題—国際研究集会記録』、Senri Ethnological Reports 118、国立民族学博物館(2014年3月)	
H26	包摂と自律の人間学	中国における家族・民族・国家のディス コース	民族社会研究部 教授 韓 敏	韓敏・末成道男 編 2014『中国社会的家族・民族・国家的話語及其動態——東亜人類学者的理論探索』(Senri Ethnological Studies 90)、国立民族学博物館(2014.11)	
H26	包摂と自律の人間学	ケアと育みの人類学	研究戦略センター 教授 鈴木七美	Suzuki, Nanami (ed.) 2014 Healing Alternatives: Care and Education as a Cultural Lifestyle, Senri Ethnological Reports 120, National Museum of Ethnology (2014.9) 鈴木七美 編著 2015『アーミッシュの生き方—ケアと養生の人類学』、世界思想社(2015年3月)	3
H27	包摂と自律の人間学	ケアと育みの人類学	研究戦略センター 教授 鈴木七美	Hirai Kyonosuke (ed.) 2015 Social Movements and the Production of Knowledge, Senri Ethnological Studies 91, Osaka: National Museum of Ethnology (2015.07)	
H27	マテリアリティの人類学	モノの崇拜:所有・収集・表象研究の新 展開	先端人類科学研究部 教授 竹沢尚一郎	竹沢尚一郎 編著 2015『ミュージアムと負の記憶——戦争・公害・疾病・災害:人類の負の記憶をどう展示するか』、東信堂(2015年10月)	
H27	マテリアリティの人類学	文化遺産の人類学——グローバル・シ ステムにおけるコミュニティとマテリア リティ	先端人類科学研究部 准教授 飯田 卓	河合洋尚・飯田卓 編 2016『中国地域の文化遺産——人類学の視点から』、Senri Ethnological Reports、国立民族学博物館(2016年3月)	4
H27	マテリアリティの人類学	民族学資料の収集・保存・情報化に 関する実践的研究:ロシア民族学博物館 との国際共同研究	先端人類科学研究部 教授 佐々木史郎	Shaglanova Olga A.,Sasaki Shiro (ed.) 2016 Culture of the Peoples of Siberia and the Russian Far East in Museums of Russia and Japan Collection, Registration, Conservation, and Exhibition, Senri Ethnological Reports 135, National Museum of Ethnology (2016.3)	
合計					17

第二期中期目標期間における機関研究成果一覧（論文等）

領域名：包摂と自立の人間学

鈴木 紀：支援の人類学—グローバルな互恵性の構築に向けて

鈴木 紀

1. 2010 「包摂とグローバルな互恵性」『民博通信』129号：8-9。
2. 2010 「グローバルな助け合いについて考える」『月刊みんぱく』395号：10-11。
3. 2011 「フェアトレード・チョコレートと持続可能な開発」佐藤寛編『フェアトレードを学ぶ人のために』pp. 144-164、京都：世界思想社
4. 2012 「『支援の人類学』の再提示：東日本大震災を経験して」『民博通信』136号：8-9。
5. 2012 「機関研究のアウトリーチ—みんぱくワールドシネマの試み」『民博通信』138号：2-7。
6. 2013 「人類学的支援とは」『民博通信』140号：10-11。
7. 2013 「包摂」『月刊みんぱく』428号：20。

Suzuki, Motoi

8. 2010 “Fair Trade as Global Communication: Commodities Carry Stories.” *MINPAKU Anthropology Newsletter* 30:13.
9. 2010 “The Anthropology of Supporting: Constructing Global Reciprocity.” *MINPAKU Anthropology Newsletter* 31: 8-9.
10. 2011 “Constructing ‘Ordinary Life’: Lessons from Peace Building Practices in Africa.” *MINPAKU Anthropology Newsletter* 32: 16.

関根久雄

11. 2012 「国家からの離脱と『市民社会』—ソロモン諸島における開発的公共圏の伸縮—」 柄木田康之・須藤健一編『オセアニアと公共圏—フィールドワークからみた重層性』pp. 35-52、京都：昭和堂。

陳天璽

12. 2011 「日本も無国籍条約の締約を—在日無国籍者の人権保護のために—」『M ネット』145号（2011年12月号）：10。

13. 2012 「「国籍」と「人権」どちらが重要か？」『であい（全人教広報誌月刊「同和教育」）』608：14-15。

CHEN, Tien-shi

14. 2011 “Human Rights and Support for Stateless People around the World: Japan’s Role”. *MINPAKU Anthropology Newsletter* 32:15-16.
15. 2012 “Statelessness in Japan: Management and Challenges”. In Chai Podhisita and Kerry Richter (eds.) *Journal of Population and Social Studies* 21(1):70-81. Thai Association of the Population and Social Researchers.

齋藤晃：近代ヒスパニック世界における国家・共同体・アイデンティティ—スペイン領アメリカの集住政策の研究

1. Diez, Alejandro (ed.)

Tensiones y transformaciones en comunidades campesinas Lima: Cisepa / Dpto de CCSS, PUCP, 2012.

2. Diez, Alejandro

Conceptos políticos, procesos sociales y poblaciones indígenas en democracia: estudio binacional Perú-

Bolivia Lima: Movimiento Manuela Ramos / Ciudadanía, 2012.

3. Diez, Alejandro

"Gobierno comunal entre la propiedad y el control territorial: el caso de la comunidad de Catacaos" En Raúl Asencio, Fernando Eguren y Manuel Ruiz (eds.) Perú: el problema agrario en debate - Sepia XIV 115-148. Lima: Sepia, 2012.

4. Diez, Alejandro

"Nuevos retos y nuevos recursos para las comunidades campesinas" En Alejandro Diez (ed.) Tensiones y transformaciones en comunidades campesinas 14-38. Lima: Cisepa / Dpto de CCSS, PUCP, 2012.

5. Glave Testino, Luis Miguel y Roberto Choque Canqui

Mita, caciques y mitayos. Gabriel Fernández Guarache: memoriales en defensa de los indios y debate sobre la mita de Potosí (1646-1663) Sucre: FCBCB / ABNB, 2012.

6. Moreno Jeria, Rodrigo

"Reformismo borbónico y el extrañamiento de los jesuitas: consecuencias misionales en Chiloé" Boletín de la Academia Chilena de la Historia 122, 2012.

7. Saito, Akira

"Cartas de misioneros de Mojos conservadas en la Biblioteca Nacional del Perú" Acta de las XIV Jornadas Internacionales sobre las Misiones Jesuíticas 14, 2012.

8. 齋藤晃

「国際共同研究の枠組みの構築—機関研究「近代ヒスパニック世界における国家・共同体・アイデンティティースペイン領アメリカの集住政策の研究」『民博通信』138: 10-11, 2012年。

9. Saito, Akira

"Resettlement Policy and its Impact on Native Society in Spanish South America" MINPAKU Anthropology Newsletter 35: 14, 2012.

10. Takeda, Kazuhisa

"Los padrones de indios guaraníes y el proceso histórico de su producción: un intento de acercarse a la historia de las fuentes documentales de las misiones jesuíticas" Acta de las XIV Jornadas Internacionales sobre las Misiones Jesuíticas 14, 2012.

11. Takeda, Kazuhisa

"Cambio y continuidad del liderazgo indígena en el cacicazgo y en la milicia de las misiones jesuíticas: análisis cualitativo de las listas de indios guaraníes" Revista Tellus 23, 2013.

12. Wilde, Guillermo

"Indios misionados y misioneros indianizados en las tierras bajas de América del Sur: sobre los límites de la adaptación cultural" En Salvador Bernabeu, Christophe Giudicelli y Gilles Havard (coords.) La indianización: cautivos, renegados, « hombres libres » y misioneros en los confines americanos (siglos XVI a XIX) 291-310. Sevilla: CSIC / EEHA / EHESS / Editorial Doce Calles, 2012.

13. Zuloaga Rada, Marina

La conquista negociada: guarangas, autoridades locales e imperios en Huaylas, Perú (1532-1610). Lima: IEP / IFEA, 2012.

14. Diez, Alejandro

Comunidades campesinas en la sierra de Piura: ensayo sobre su cultura, organización e historia. En Javier Hernández-Ramírez y Enrique García Vargas (coords.) Compartiendo el patrimonio: paisajes culturales y modelos de gestión en Andalucía y Piura, Sevilla: Universidad de Sevilla, 2013, pp. 241-254.

15. Diez, Alejandro

La leyenda de la Virgen de la Asunción y la historia local de Pacaipampa (o acerca del pensamiento antropológico y la historicidad de los mitos). En José Sánchez Paredes y Marco Curatola Petrocchi (eds.) Los rostros de la tierra encantada: religión, evangelización y sincretismo en el Nuevo Mundo, Lima: IFEA / Fondo editorial PUCP, 2013, pp. 165-182.

16. Diez, Alejandro

De la fiesta al festival: identidad, territorio y autenticidad. En Rozas Alvarez, Jesús Washington, Valencia Blanco y Delmia Socorro (eds.) Laicidad: política, Estado y religión. Cusco: FUNSAAC / Convenio CIUF-UNSAAC, 2013, pp. 87-130.

17. Moreno Jeria, Rodrigo

La cartografía jesuita en el archipiélago de Chiloé en los siglos XVII y XVIII. En Ana Castro Santamaría y Joaquín García Nistal (coords.) La impronta humanística (ss. XV -XVIII): saberes, visiones, interpretaciones, Palermo: Officina di Studi Medievali, 2013, pp. 325-334.

18. 齋藤晃

「集住政策はアメリカをどう変えたのか—機関研究：近代ヒスパニック世界における国家・共同体・アイデンティティ—スペイン領アメリカの集住政策の研究」『民博通信』143: 8-9, 2013.

19. Saito, Akira

La guerra indígena y la expansión misional: el caso de Moxos, siglos XVII-XVIII. En Claudia Rosas Lauro y Alejandro Málaga Núñez-Zeballos (eds.) Fiestas, religiosidad y cultura en los Andes: siguiendo la ruta de Luis Millones. Lima: Fondo Editorial del Congreso de la República del Perú, en prensa.

20. Takeda, Kazuhisa

Cambio y continuidad del liderazgo indígena en el cacicazgo y en la milicia de las misiones jesuíticas: análisis cualitativo de las listas de indios guaraníes, Revista Tellus 23, en prensa.

21. Vergara Ormeño, Teresa

Evangelización, hispanización y poder: Agustín Capcha, fiscal mayor del arzobispado de Lima. Nueva Corónica 3: 109-123, 2014.

22. Wilde, Guillermo

The Political Dimension of Space-Time Categories in the Jesuit Missions of Paraguay (17th and 18th Centuries). In Wietse de Boer, Aliocha Maldavsky, Giuseppe Marcocci and Ilaria Pavan (eds.) Space and Conversion: A Global Approach (c. 1450-c. 1850), Brill, in press.

23. Wilde, Guillermo

Global Patterns and Local Adaptations: A Typology of Jesuit Books of the Guarani Missions and Their Circulation in South-America". In Antoni Ücerler and Xiaoxing Wu (eds.) Legacies of the Book: Early Missionary Printing in Asia and the Americas, Brill, in press.

24. Wilde, Guillermo

The Sounds of Indigenous Ancestors: Music, Corporality and Memory in the Jesuit Missions of Colonial South America, In Patrica Zhall (ed.) The Oxford Handbook of Music Censorship, New York: Oxford University Press, in press.

鈴木七美：ケアと育みの人類学

1. Suzuki, Nanami (ed.)

The Anthropology of Aging and Well-being: Searching for the Space and Time to Cultivate Life Together

(Senri Ethnological Studies 80), Osaka: National Museum of Ethnology. 2013.

2. Suzuki, Nanami

"Creating a Community of Resilience: New Meanings of Technologies for Greater Well-Being in a Depopulated Town" *Anthropology & Aging Quarterly* 33(3): 87-96, 2012.

3. Taniguchi, Yoko

"The Sense of Social Commitment and Well-being among Older Japanese Women: Focusing on the Reinterpretation and Exhibition of Bridal Noren" *Anthropology & Aging Quarterly* 33(3): 97-103, 2012.

4. Fujiwara, Kuniko

"Rethinking Successful Aging after the Ontological Turn from the Perspective of an Aging Japanese Statue of Jizō with Replaceable Heads" *Anthropology & Aging Quarterly* 33(3): 104-111, 2012.

5. 鈴木七美

「養生と共生の軌跡」『民博通信』140:12-13、2013年。

6. 野林厚志・平井康之・真鍋 徹・藤 智亮・川窪 伸光・三島 美佐子

2014 『知覚を刺激するミュージアム: 見て、触って、感じる博物館のつくりかた』学芸出版社

7. 内藤直樹・山下輝裕編著

2014 『社会的包摂・排除の人類学 開発・難民・福祉』昭和堂

8. 丹羽典生編著

2015 『グローバル化における紛争と宗教的社会運動』(仮)、研究論集、(3月刊行予定)

9. 丹羽典生・石森大知編著

2013 『現代オセアニアの「紛争」: 脱植民地期以降のフィールドから』昭和堂

10. Hirai Kyonosuke (ed.)

2015 *Social Movements and the Production of Knowledge*, SES, Osaka: National Museum of Ethnology

韓 敏: 中国における家族・民族・国家のディスコース

1. 韓敏「家族・民族・国家のディスコース—社会の連続性と非連続性を作りだす仕組み」『民博通信』137:8-9、2012年。

2. 韓敏「国際シンポジウム 中国の社会と民族—人類学的枠組と事例研究」『民博通信』139:31、2012年。

1. 2013年『中日人類学民族学理論創新与田野調査 国際学術研討会 論文集』(予稿集)483ページ

2. 2013年12月6日「中日学者聚焦 人类学民族学理论创新与田野调查」『中国社会科学報』2版

3. 2012年度に開催された機関研究・国際シンポジウム「中国の社会と民族—人類学的枠組みと事例研究」の成果をまとめ、2014年11月に中国語論文集を刊行。

4. 韓敏・未成道男

2014『中国社会学的家族・民族・国家的話語及其動態—東亞人類学者的理論探索』(Senri Ethnological Studies 90)、国立民族学博物館

5. 韓敏

2014「日中の人類学の交流と今後の展開」『民博通信』No.146、pp.8-9、国立民族学博物館

領域名: マテリアリティーの人間学

竹沢尚一郎: モノの崇拜—所有・収集・表象研究の新展開

1. 竹沢尚一郎「民族学博物館の危機」『民博通信』140：8-9、2013年。
2. ジェームズ・クリフォードの講演は、『国立民族学博物館研究報告』2011年度35（4）号に発表。
3. エル・アナツイに関する研究シンポジウムの発表の多くは、民博特別展の図録『彫刻家エル・アナツイのアフリカ』（読売新聞社・美連協、2010年）と重複。
4. 竹沢尚一郎 編著
2015『ミュージアムと負の記憶——戦争・公害・疾病・災害：人類の負の記憶をどう展示するか』、東信堂（2015年10月）

関本照夫：布と人間の人類学的研究

1. Sekimoto, Teruo
"Consuming textiles through their uses and reuses, International workshop, February 7-8, 2012 (conference report)" Minpaku Anthropology Newsletter 34: 14-15, 2012.
2. 関本照夫
「今日のインドネシアバティック産業」窪田幸子・松井健編『アジア工芸の<現在>—工芸と人類学の基礎研究』東京大学東洋文化研究所：pp. 65-70、2012年。
3. 関本照夫「捨てるもの、捨てられないもの—国際ワークショップから」『民博通信』138：12-13、2012.
4. Sekimoto, Teruo
"Discardable and Undiscardable Textiles and Clothing" MINPAKU Anthropology Newsletter 35: 1-3, 2012.
5. Sugihara, Miki
"Shifting Functions of Two Major Second Hand Clothing Markets in 17th—18th Century Edo: Tomizawa and Yanagihara" MINPAKU Anthropology Newsletter 35: 5-6, 2012.
6. Tamura, Ulara
"Sacred Rag, Shoddy Rag" MINPAKU Anthropology Newsletter 35: 7-8, 2012.
7. Ogawa, Sayaka
"Regaining 'Fashion' Value: The Transborder Trading of Second-hand Clothing in East Africa" MINPAKU Anthropology Newsletter 35: 9-10, 2012.

佐々木史郎：民族学資料の収集・保存・情報化に関する実践的研究：ロシア民族学博物館との国際共同研究

1. 2012年「21世紀の民族学博物館の行方：機関研究「民族学資料の収集・保存・情報化に関する実践的研究—ロシア民族学博物館との国際共同研究」」『民博通信』137号、pp. 8-9、大阪：国立民族学博物館（平成24年度成果報告）
2. 2013年「民族学資料の保存と修復—博物館バックヤードの利用効率の向上と自然素材資料の修復」『民博通信』142号、pp. 8-9、大阪：国立民族学博物館（平成24年度成果報告）
3. 2015年「民族学資料の情報化とデジタル化」『民博通信』147号、pp. 8-9、大阪：国立民族学博物館（平成25年度成果報告）
4. Shagkanova, Olga A. and Sasaki Shiro (eds)
2015 The Cultural Heritage of Buryats, Evenks and Semeyskiye: Material and Religious Articles from the Collections of the Ethnographic Museum of Transbaikalian Peoples (The Republic of Buryatia, Russia).

Senri Ethnological Reports 128. Osaka: National Museum of Ethnology

5. 2016 Культура народов Сибири и Дальнего Востока в музейных коллекциях: методы сбора, учета, хранения и экспозиции. Материалы Международного научного симпозиума. Национальный музей этнологии, Осака, Япония 13-14 октября 2013 г. Senri Ethnological Reports 000. Osaka: National Museum of Ethnology (2013年10月13日、14日実施の国際シンポジウム「博物館コレクションから見たシベリア、極東ロシア諸民族の文化：収集、整理、保存、展示の方法論」の成果報告)

飯田 卓：文化遺産の人類学——グローバル・システムにおけるコミュニティとマテリアリティ

1. 2014年6月28日に開催した公開フォーラム「和食は誰のものか？」の成果を、『民博通信』149号において公開。
2. 2015年1月24日～25日に開催した国際フォーラム「中国地域の文化遺産」の成果は、国立民族学博物館調査報告の1冊『中国地域の文化遺産——人類学の視点から』として刊行する予定である（2016年3月刊行予定）。
3. 2014年6月27日に開催した公開研究会「文化遺産管理における住民参加」および2014年11月8日に開催した公開フォーラム「文化遺産の人類学」の成果は、まとめたかたちで日本の出版社から刊行する予定で、現在準備が進んでいる（2016年中に刊行予定）。
4. 2013年5月27日～28日に開催した国際シンポジウム「文化遺産はコミュニティをかたどるか？」の成果は、Senri Ethnological Studiesの1冊として刊行するため編集作業を進めている（2016年中に刊行予定）。
5. 2016年3月11日～13日に開催した国際シンポジウム「無形文化遺産の継承における「オーセンティックな変更・変容」」の成果は、Minpaku Anthropology Newsletterにおいて速報的に公開するほか（2016年6月に刊行予定）、イギリスの大学出版局から刊行するため編集作業を進めている（2016年度中に刊行予定）。

菊澤律子：手話言語と音声言語の比較に基づく新しい言語観の創生

1. シンポジウムについては、英語字幕付きでウェブ掲載予定。
2. 1のなかから数本を選択し、日本語字幕および日本手話付きで掲載予定。（26年度）
3. セミナーについては、すべて日本語字幕、日本手話通訳をつけてウェブに掲載予定。
4. また、シンポジウムおよびセミナーのいずれについても講演起稿データを紙媒体で出版できるよう、準備中。（27年度末予定）
5. 2013年度実施シンポジウム講演等はすべて映像収録し、とくに大切と考えられるものについて、ろう者やろうの研究者への情報保障を考慮し、情報保障（字幕付き・手話通訳）付き映像資料として以下のサイトに掲載。
<http://www.minpaku.ac.jp/sokendai/ss11/index.html>
（総合研究大学院大学学融合推進センタープロジェクト「手話言語学を世界へつなぐ—メディア発信と e-learning 開発に向けて—（研究代表者：菊澤律子）」ウェブサイト）
6. 2014年実施シンポジウム分の映像については、現在、文字起こしおよび翻訳待ち状態となっており、他映像配信アプリを利用して順次、上記ウェブサイトに掲載する。
（当日は、すべての講演内容とディスカッションをインターネット上で配信し、さらに配信映像については、民博内閲覧のため、DVDに収録。）
7. 三年間のまとめとして、講演者、司会者および共同研究者から原稿を募り、出版物を準備中である。